

What's Pink Shirt Day?

ピンクシャツデーとは

ピンクシャツデーは、ピンクシャツを着たり

ピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。

ピンクシャツデーキャンペーンはカナダ生まれのいじめ反対運動です。実話から誕生しました。

【出展】 <https://pink-shirt-day.com/>
「日本ピンクシャツデー公式サイト」より

こどもから大人まで誰もが参加することのできるシンプルなポジティブキャンペーンです。

現在は約 180 の国や地域に広がり世界的キャンペーンの一つとなっています。

カナダ首相のジャスティン・トルドー氏も、ピンクシャツデー運動に賛同しメッセージ配信しています。

■舞台は 2007 年、カナダ・ノバスコシア州のハイスクールです。

9 年生（中学 3 年生）の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したことをきっかけに、ホモセクシャルだとからかわれ暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。

その出来事を聞いた上級生のデイヴィッド氏とトラヴィス氏。12 年生（高校 3 年生）の彼らにとっては、その学校で過ごす最後の年でした。

■「いじめなんて、もう、うんざりだ！」「アクションを起こそう！」

そう思ったふたりは、その日の放課後、ディスカウントストアへ行き 75 枚のピンク色のシャツやタンクトップを買いこみました。

そしてその夜、学校の BBS 掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに呼びかけました。

■「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と。

翌朝、ふたりはピンク色のシャツやタンクトップを入れたビニール袋を手に登校しました。

学校について校門で配りはじめようとしたふたりの目に映った光景・・・

それはピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してくる姿でした。

ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボンなど、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。

頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいました。

■ふたりの意思は一夜のうちに広まっていたのです。

ふたりが呼びかけた人数より遥か多く、数百人もの生徒たちがピンクシャツやピンク色のものを身につけ登校してきたことで、その日、学校中がピンク色に染まりました。

いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、肩の荷がおりたような安堵の表情を浮かべていたそうです。以来、その学校でいじめを聞くことはなくなりました。

■いじめに対して、学生たちは言葉や暴力ではなく行動で意思表示をしようと立ち上がったのでした。

カナダの学生たちが起こした行動が地元メディアで取り上げられると、瞬く間にカナダ全土へと広がり、アメリカのトークショーやスペイン最大の新聞でも紹介されるなどして、世界へと広がっていきました。メディアで彼らのことが紹介された翌日には、アメリカ、イギリス、ノルウェー、スイスから彼らの元へ多数の賞賛や感謝を伝えるメールが届いたといい、大きな反響が伺えます。この行動がきっかけとなり、カナダでは毎年 2 月最終水曜をピンクシャツデーとし、この日、学校・企業・個人を含めた賛同者がピンクシャツを着て「いじめ反対」のメッセージを送っています（※2012 年、国連は 5 月 4 日をいじめ反対の日と宣言しています）。